

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社ショーワ 上場取引所 東  
 コード番号 7274 URL <https://www.showa1.com>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉山 伸幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 関口 誠 TEL 048-554-1151  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	201,493	△6.2	20,594	△11.2	20,470	△10.1	15,054	△13.7	12,139	△15.0	13,697	△17.9
2019年3月期第3四半期	214,747	△0.7	23,182	32.5	22,770	23.3	17,448	34.3	14,277	44.8	16,677	2.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	159.81	—
2019年3月期第3四半期	187.95	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	206,500	134,331	121,008	58.6
2019年3月期	210,275	126,534	113,316	53.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.00	—	19.00	36.00
2020年3月期	—	24.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	271,000	△5.5	27,000	△10.4	26,800	△10.6	20,600	△11.2	16,200	△15.0	213.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は、添付資料P.11「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6)会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	76,020,019株	2019年3月期	76,020,019株
2020年3月期3Q	54,502株	2019年3月期	54,348株
2020年3月期3Q	75,965,606株	2019年3月期3Q	75,965,790株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(6) 会計方針の変更 .....	11
(7) セグメント情報 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月間)の売上収益につきましては、主に為替換算の影響による減少並びに四輪車用製品及びステアリング製品の販売が減少し、201,493百万円と前年同四半期に比べ13,254百万円(6.2%)の減収となりました。営業利益は売上変動構成変化等による減少により、20,594百万円と前年同四半期に比べ2,588百万円(11.2%)の減益となりました。税引前四半期利益は20,470百万円と前年同四半期に比べ2,299百万円(10.1%)の減益となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は12,139百万円と前年同四半期に比べ2,137百万円(15.0%)の減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### <二輪・汎用事業>

二輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、主にアジア及び日本における販売の減少により、全体で減少しました。

二輪・汎用事業の売上収益は、二輪車用製品の販売が減少したことにより、61,763百万円と前年同四半期に比べ2,492百万円(3.9%)の減収となりました。営業利益は、9,000百万円と前年同四半期に比べ46百万円(0.5%)の減益となりました。

#### <四輪事業>

四輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、主にアジア及び日本における販売の減少により、全体で減少しました。

四輪事業の売上収益は、四輪車用製品の販売が減少したことにより、63,564百万円と前年同四半期に比べ5,258百万円(7.6%)の減収となりました。営業利益は、3,842百万円と前年同四半期に比べ1,629百万円(29.8%)の減益となりました。

#### <ステアリング事業>

ステアリング製品の販売は前年同四半期に比べ、主に日本及びアジアにおける販売の減少により、全体で減少しました。

ステアリング事業の売上収益は、ステアリング製品の販売が減少したことにより、65,478百万円と前年同四半期に比べ4,733百万円(6.7%)の減収となりました。営業利益は、7,713百万円と前年同四半期に比べ2,941百万円(27.6%)の減益となりました。

#### <ガスピリング事業>

ガスピリング事業の売上収益は、1,847百万円と前年同四半期に比べ459百万円(19.9%)の減収となりました。営業損失は、371百万円(前年同四半期は営業損失221百万円)となりました。

#### その他

その他の売上収益は、8,839百万円と前年同四半期に比べ310百万円(3.4%)の減収となりました。営業利益は、463百万円と前年同四半期に比べ134百万円(40.8%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、206,500百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,774百万円減少しました。各項目別の主な要因は次のとおりです。

## &lt;流動資産&gt;

流動資産は125,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,118百万円減少しました。これは主に、現金及び現金同等物並びに営業債権及びその他の債権が減少したことによるものです。

## &lt;非流動資産&gt;

非流動資産は81,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ343百万円増加しました。これは主に、その他が減少したものの、有形固定資産並びにその他の金融資産が増加したことによるものです。

## &lt;流動負債&gt;

流動負債は55,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,841百万円減少しました。これは主に、引当金並びにその他金融負債が減少したことによるものです。

## &lt;非流動負債&gt;

非流動負債は16,828百万円となり、前連結会計年度末に比べ270百万円増加しました。これは主に、長期従業員給付並びに繰延税金負債が減少したものの、長期有利子負債が増加したことによるものです。

## &lt;資本&gt;

資本は134,331百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,796百万円増加しました。これは主に、その他の資本の構成要素が減少したものの、利益剰余金が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(2019年4月1日から2020年3月31日までの12ヶ月間)の連結業績予想は、以下のとおり2019年10月30日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 〈通期〉

売上収益	271,000百万円	前連結会計年度比	5.5%減
営業利益	27,000百万円	前連結会計年度比	10.4%減
税引前利益	26,800百万円	前連結会計年度比	10.6%減
当期利益	20,600百万円	前連結会計年度比	11.2%減
親会社の所有者に帰属する当期利益	16,200百万円	前連結会計年度比	15.0%減

為替レートは通期平均で、1米ドル=109円、1人民元=15.6円を前提としています。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	49,809	44,086
営業債権及びその他の債権	40,515	38,699
その他の金融資産	1,061	777
棚卸資産	34,247	33,288
その他	3,821	3,888
小計	129,455	120,740
売却目的で保有する資産	—	4,597
流動資産合計	129,455	125,337
非流動資産		
有形固定資産	61,618	62,111
投資不動産	536	536
無形資産	3,560	3,893
持分法で会計処理されている投資	5,256	5,261
その他の金融資産	4,097	4,540
繰延税金資産	1,773	1,769
その他	3,977	3,050
非流動資産合計	80,819	81,163
資産合計	210,275	206,500

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期有利子負債	1,557	2,079
営業債務	30,166	26,331
その他の金融負債	9,586	5,104
未払法人所得税	1,428	930
短期従業員給付	7,767	5,502
引当金	13,241	7,799
その他	3,434	4,475
小計	67,182	52,224
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	3,115
流動負債合計	67,182	55,340
非流動負債		
長期有利子負債	3,995	5,061
長期従業員給付	7,586	7,008
引当金	722	654
繰延税金負債	3,787	3,647
その他	466	456
非流動負債合計	16,558	16,828
資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,420	13,420
利益剰余金	85,502	94,375
自己株式	△55	△55
その他の資本の構成要素	1,749	569
親会社の所有者に帰属する持分	113,316	121,008
非支配持分	13,218	13,322
資本合計	126,534	134,331
負債及び資本合計	210,275	206,500

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)
売上収益	214,747	201,493
売上原価	△164,541	△154,474
売上総利益	50,205	47,018
販売費及び一般管理費	△25,212	△26,696
その他の収益	671	764
その他の費用	△2,482	△492
営業利益	23,182	20,594
金融収益	470	484
金融費用	△1,120	△927
持分法による投資損益	237	320
税引前四半期利益	22,770	20,470
法人所得税	△5,321	△5,416
四半期利益	17,448	15,054
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	14,277	12,139
非支配持分	3,170	2,914
合計	17,448	15,054
基本的1株当たり四半期利益(単位：円)	187.95	159.81

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)
四半期利益	17,448	15,054
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	△546	104
純損益に振替えられることのない項目の合計	△546	104
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△54	△1,310
持分法適用会社に対する持分相当額	△170	△150
純損益に振替えられる可能性のある項目の合計	△225	△1,460
その他の包括利益合計(税引後)	△771	△1,356
四半期包括利益	16,677	13,697
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	13,935	10,959
非支配持分	2,741	2,737
合計	16,677	13,697

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素 その他の包括利益を通じて測定される金融資産
期首残高	12,698	13,417	68,679	△54	2,488
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	14,277	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△546
四半期包括利益合計	—	—	14,277	—	△546
所有者との取引等					
配当	—	—	△2,203	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—
所有者との取引等合計	—	—	△2,203	△0	—
期末残高	12,698	13,417	80,753	△55	1,942

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△1,153	1,335	96,075	13,582	109,658
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	14,277	3,170	17,448
その他の包括利益	204	△342	△342	△429	△771
四半期包括利益合計	204	△342	13,935	2,741	16,677
所有者との取引等					
配当	—	—	△2,203	△2,844	△5,047
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
所有者との取引等合計	—	—	△2,203	△2,844	△5,048
期末残高	△949	993	107,807	13,479	121,287

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素 その他の包括利益を通じて測定される金融資産
期首残高	12,698	13,420	85,502	△55	2,023
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	12,139	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	104
四半期包括利益合計	—	—	12,139	—	104
所有者との取引等					
配当	—	—	△3,266	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—
所有者との取引等合計	—	—	△3,266	△0	—
期末残高	12,698	13,420	94,375	△55	2,127

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△273	1,749	113,316	13,218	126,534
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	12,139	2,914	15,054
その他の包括利益	△1,284	△1,180	△1,180	△176	△1,356
四半期包括利益合計	△1,284	△1,180	10,959	2,737	13,697
所有者との取引等					
配当	—	—	△3,266	△2,633	△5,899
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
所有者との取引等合計	—	—	△3,266	△2,633	△5,900
期末残高	△1,558	569	121,008	13,322	134,331



## (5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (6) 会計方針の変更

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の項目を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しています。

IFRS		新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	リースの認識に関する会計処理の改訂

契約がリースであるか否か又は契約にリースが含まれているか否かについては、法的にはリースの形態をとらないものであっても、契約の実質に基づき判断しています。

リース開始日において、使用権資産は取得原価で、リース負債は同日現在で支払われていないリース料の現在価値で測定しています。使用権資産の取得原価は、リース負債の当初測定額、当初直接コスト、前払リース料等の調整額、契約に基づき要求される原状回復義務等のコストで構成されています。また、リース料の現在価値を算定する際に使用する割引率には、リースの計算利率又は借手の追加借入利率を使用しています。

開始日後において、使用権資産は原価モデルを適用して測定し、リース期間又は使用権資産の耐用年数のいずれか短い方の期間にわたり定額法により減価償却を行っています。リース料は、リース負債残高に対して一定の利率となるように、金融費用とリース負債残高の返済部分とに配分し、金融費用は連結損益計算書において認識しています。

なお、リース期間が12ヶ月以内に終了するリース及び原資産が少額であるリースについては、当該リースに関連したリース料を、リース期間にわたり定額法又は他の規則的な方法のいずれかにより費用として認識しています。

当社グループは、IFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。適用開始日現在の要約四半期連結財政状態計算書に認識されているリース負債に適用している追加借入利率の加重平均は2.5%です。

IFRS第16号の適用に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、実務上の便法を選択し、IAS第17号「リース」(以下、「IAS第17号」という。)及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継いでいます。適用開始日以降は、IFRS第16号の規定に基づき判断しています。

前連結会計年度末においてIAS第17号を適用した解約不能オペレーティング・リース契約と、適用開始日において要約四半期連結財政状態計算書に認識したリース負債の調整表は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

解約不能オペレーティング・リース契約の割引後の金額(2019年3月31日)	795
前期末に認識していたファイナンス・リース債務(2019年3月31日)	277
期首に認識した解約可能オペレーティング・リース契約等	2,551
2019年4月1日におけるリース負債	3,624

上記のリース負債は、「短期有利子負債」又は「長期有利子負債」に含めて表示しています。また、適用開始日の要約四半期連結財政状態計算書において、使用権資産4,129百万円を「有形固定資産」に認識しています。これには、IAS第17号に基づいて認識していたリース資産、その他の流動資産及びその他の非流動資産等から振り替えた金額1,671百万円が含まれています。さらに、ファイナンス・リースに分類した使用権資産のサブリースに関連した債権及び前払費用を非流動資産の「その他の金融資産」及び「その他」にそれぞれ282百万円、611百万円追加的に認識しています。結果、IFRS第16号の適用により、従前の会計基準を適用した場合と比べて、適用開始日の要約四半期連結財政状態計算書において、資産合計及び負債合計が3,304百万円増加しています。

なお、当社グループは、IFRS第16号の適用に際し、以下の実務上の便法を使用しています。

- ・適用開始日から12ヶ月以内にリース期間が終了するリースについて、リース期間が12ヶ月以内に終了するリースと同じ方法で処理すること
- ・当初直接コストを適用開始日現在の使用権資産の測定から除外すること
- ・契約にリースを延長又は解約するオプションが含まれている場合にリース期間を算定する際などに、事後的判断を使用すること

## (7) セグメント情報

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基に決定しています。

当社グループは、自動車用部品を主に、輸送用機械の精密機能部品の製造及び販売と、これに関連する事業を営んでおり、製品の用途と特性に応じて「二輪・汎用事業」、「四輪事業」、「ステアリング事業」、及び「ガススプリング事業」の4つを報告セグメントとしています。

なお、当社グループの報告セグメントと各報告セグメントごとの主要製品は次のとおりです。

報告セグメント	主要製品
二輪・汎用事業	二輪車用ショックアブソーバ、船外機用パワーチルトトリム、トリムシリンダ
四輪事業	四輪車用ショックアブソーバ、プロペラシャフト、オートマチックトランスミッション部品、デファレンシャルギヤ、その他駆動系部品
ステアリング事業	電動パワーステアリング、油圧パワーステアリング、CVTポンプ
ガススプリング事業	ガススプリング

## 2. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)3	連結	
	二輪・汎 用事業	四輪事業	ステアリ ング事業	ガスプ リング事 業	合計				
外部顧客からの売上 収益	64,255	68,823	70,212	2,306	205,597	9,150	—	214,747	
セグメント間の売上 収益	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	64,255	68,823	70,212	2,306	205,597	9,150	—	214,747	
セグメント利益 (△は損失)(注)2	9,047	5,472	10,655	△221	24,954	329	△2,101	23,182	
金融収益及び金融 費用									△649
持分法による投資 損益									237
税引前四半期利益									22,770

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等です。

2. セグメント利益(△は損失)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益をベースとしています。

3. セグメント利益(△は損失)の調整額は、区分が不可能な独占禁止法関連損失です。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)3	連結	
	二輪・汎 用事業	四輪事業	ステアリ ング事業	ガスプ リング事 業	合計				
外部顧客からの売上 収益	61,763	63,564	65,478	1,847	192,653	8,839	—	201,493	
セグメント間の売上 収益	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	61,763	63,564	65,478	1,847	192,653	8,839	—	201,493	
セグメント利益 (△は損失)(注)2	9,000	3,842	7,713	△371	20,185	463	△55	20,594	
金融収益及び金融 費用									△443
持分法による投資 損益									320
税引前四半期利益									20,470

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等です。  
 2. セグメント利益(△は損失)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益をベースとしています。  
 3. セグメント利益(△は損失)の調整額は、区分が不可能な独占禁止法関連損失です。



2020年1月31日

2020年3月期第3四半期連結累計期間

参考資料

連結業績 (IFRS)

(単位: 百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	差異	2019年3月期	2020年3月期	差異		
	前第3四半期 (9ヶ月)実績	当第3四半期 (9ヶ月)実績		前期(通期) 実績	当期(通期) 今回予想			
売上収益	214,747	201,493	△ 13,254	286,692	271,000	△ 15,692		
事業別	二輪・汎用事業	ショックアブソーバ	61,106	58,839	△ 2,266	82,078	78,313	△ 3,765
		ボート用製品	3,149	2,923	△ 225	4,289	3,780	△ 509
		計	64,255	61,763	△ 2,492	86,367	82,093	△ 4,274
	四輪事業	ショックアブソーバ	49,958	46,222	△ 3,736	65,660	61,786	△ 3,873
		駆動系	18,864	17,342	△ 1,522	25,092	23,664	△ 1,428
	計	68,823	63,564	△ 5,258	90,752	85,450	△ 5,301	
	ステアリング事業	70,212	65,478	△ 4,733	94,045	88,664	△ 5,380	
	ガススプリング事業	2,306	1,847	△ 459	2,940	2,448	△ 491	
	その他	9,150	8,839	△ 310	12,587	12,341	△ 245	
	営業利益	23,182	20,594	△ 2,588	30,142	27,000	△ 3,142	
事業別	二輪・汎用事業	9,047	9,000	△ 46	12,679			
	四輪事業	5,472	3,842	△ 1,629	7,174			
	ステアリング事業	10,655	7,713	△ 2,941	12,766			
	ガススプリング事業	△ 221	△ 371	△ 150	△ 881			
	その他	329	463	134	504			
	全社	△ 2,101	△ 55	2,045	△ 2,101			
税引前利益	22,770	20,470	△ 2,299	29,963	26,800	△ 3,163		
当期利益	17,448	15,054	△ 2,394	23,187	20,600	△ 2,587		
親会社の所有者に帰属する当期利益	14,277	12,139	△ 2,137	19,052	16,200	△ 2,852		
基本的1株当たり当期利益	円 銭 187.95	円 銭 159.81	円 銭 △ 28.14	円 銭 250.80	円 銭 213.25	円 銭 △ 37.55		
営業利益増減要因	5,681	△ 2,588		4,845	△ 3,142			
売上変動構成変化等	△ 180	△ 2,730		△ 2,838	△ 1,918			
原価低減効果等	2,323	1,418		2,842	2,250			
労務費(ベースアップ影響)	△ 732	△ 804		△ 954	△ 1,032			
研究開発費	△ 647	△ 265		△ 845	△ 543			
販管費・その他収益費用	5,715	348		7,727	△ 948			
為替影響 ※	△ 797	△ 554		△ 1,086	△ 950			
設備投資	5,075	7,316	2,241	8,231	14,713	6,482		
減価償却費	6,661	6,464	△ 196	8,818	8,721	△ 96		
総資産	205,507	206,500	993	210,275				
資本合計	121,287	134,331	13,044	126,534				

※ 営業利益増減要因の各項目の金額は、前期の為替レートで換算しており、当期の為替レートによる換算との差(換算差)は「為替影響」に含めています。

個別業績 (日本基準)

(単位: 百万円)

	2020年3月期	2020年3月期	差異	2019年3月期
	当期(通期)	当期(通期)		前期(通期)
	前回(10/30)予想	今回予想		実績
売上高	99,700	98,800		111,035
営業利益	2,300	2,400		7,165
経常利益	16,200	16,700		21,180
当期純利益	14,800	15,400		17,574